

第5章

マレーシアの貿易統計と貿易指数

佐藤克彦

はじめに

マレーシアは1957年の独立以来、これまで8次の5カ年計画を実施し、3回の長期展望計画と工業化基本計画を策定してきた。マレーシアは天然資源が豊富であったため、一次産品依存経済から出発した。60年代のゴム、錫から始まって、70年代には木材、パーム油、80年代は工業品へと主要輸出品を変化させて工業製品輸出国へ移行した。国内市場が狭小であったため、必然的に輸入代替から輸出促進へと政策を転換し、貿易自由化によって輸出市場の拡大をはかってきた。68年の投資奨励法や71年の自由貿易区法、そして86年の外国直接投資法を契機として日系企業を初めとする外資の急速な流入が始まり、電子・電機を中心とした製造業が急速に成長した。貿易投資政策はマレーシアの工業化に大きな役割を果たした。2003年にはAFTA（ASEAN Free Trade Area）による自由貿易地域が発足した。本章ではマレーシアの貿易統計と貿易指数の作成方法の現状を明らかにすることを目的としている。

1. マレーシアの貿易統計

マレーシアにおける貿易統計は一元的にマレーシア統計局の一部局である外国貿易統計部（External Trade Statistics Division）が担当している（注1）。政府機構としては総理府の下に置かれている。統計局（Bureau of Statistics）は統計法に基づいて1949年に設立され、当初は貿易統計と農業統計のみを扱っていた。1965年にマレーシア統計局（Department of Statistics Malaysia）と改称

し、KL (Kuala Lumpur) 本局の他にサバとサラワク両州に支所が置かれた。

マレーシアには 222 カ所 (1997 年) の工業団地が立地しており、そこに自由工業地域 (FIZ : Free Industrial Zones) や保税倉庫 (LMW : Licensed Manufacturing Warehouses) が置かれている。外国貿易に関するデータはマレーシア税関・間接税務局 (Royal Customs and Excise Department)、ジョホール港、ポートクラン港などの全国 6 カ所の国際港の港湾当局、その他の機関等により輸出入申告書に基づいて作成されている。それらデータをマレーシア統計局が収集・編纂し、貿易統計を作成している。

半島マレーシア、サバ、サラワクにおける全ての輸出、輸入、再輸出に関する外国との貿易取引が統計に記載される。その除外項目が幾つか存在し、その一つが低額商品取引 (LVT : Low Value Transactions) である。1991 年から一回の取引額が 500 リンギ以下の場合、一部の例外商品を除いて低額商品取引として扱われて統計から除外されている。1993 年には 2,000 リンギ未満に、1995 年の 1 月からは 5,000 リンギ未満 (サラワクの両州においては 2,000 リンギ未満) にその基準が引き上げられてきた。また、通過貨物 (Transit Cargo, Transshipment Cargo) 等の幾つかのカテゴリーも除かれている (注 2)。

マレーシアの貿易統計は月刊による①統計月報 (ETS : Monthly External Trade Statistics)、年刊の②貿易統計年刊 (External Trade Statistics, Malaysia) により政府刊行物として公表されている。輸出入の価格表示は 1000 マレーシアリンギで、輸入は CIF (cost insurance and freight)、輸出は FOB (free on board) によっている。統計の商品分類は国際貿易標準分類改訂第 3 版 (SITC : United Nations, Standard International Trade Classification, Revision3) に準拠している。

年刊に掲載されているデータは、標準国際貿易分類に基づく SITC3 桁の表示である。より詳細な商品分類を必要とする場合には、HS (Harmonized System) コード 9 桁によるデータが用意されている。

1996 年以降の貿易統計に関しては電子刊行物 (Digital Publications) として CD-ROM の形態で一般に販売されている。現在マレーシアにおいては、1996 年から 2001 年に至る 6 年間の輸出、輸入、再輸出の HS コード 9 桁レベルまでの貿易統計が CD-ROM で入手可能である。

2. 貿易構造

以下では貿易指数の理解に資するため、マレーシアの貿易構造に簡単に触れる。マレーシアは伝統的に錫、ゴム、木材等一次産品輸出国であった。1980年代初頭まで総輸出に占める一次産品の割合が過半数を占めていた。1980年代の輸出指向政策とそれに伴う外資導入によって工業化が進展し、製品輸出のシェアも急速に上昇した。その結果、1985年には製造品が上回った。工業製品輸出額は1980年の147,253百万リングギから1990年には373,307百万リングギへと増大し、そのマレーシアの輸出総額に対する比率も85%に達した。

表1は1995年から2000年に至る第8次マレーシア計画期間におけるマレーシアの貿易構造を示したものである。製造業の進展がみざましく、その製品輸出が総輸出の85.2%を占めている。逆に製造業輸出の拡大は同時に日本などからの部材の輸入を拡大して中間財輸入が総輸入額の73.8%を占めていて、その伸び率も年率12.8%と高率である。さらに、経済発展に伴って消費財の輸入も年率7.7%で増大している。

さらに、マレーシア貿易の特徴として特定品目へ集中と輸出市場の集中を挙げることができる。表2は製造業部門別による輸出品目を示している。製造業の品目では資源依存型の製品輸出のシェアは13.5%であるのに対して、

表1 マレーシアの貿易構造 (1995年、2000年) (RM million)

	1995年	%	2000年	%	年平均増加率
[輸出]					
農業	21,642	11.7	22,914	6.1	1.1
鉱業	10,723	5.8	26,801	7.2	20.1
製造業	147,253	79.6	317,939	85.2	16.6
その他	5,369	2.9	5,655	1.5	1.0
合計	184,987	100.0	373,307	100.0	15.1
[輸入]					
資本財	39,127	20.1	47,064	15.1	3.8
中間財	126,338	65.0	230,611	73.8	12.8
消費財	11,975	6.2	17,372	5.6	7.7
その他	9,676	5.0	11,070	3.5	2.7
輸入計	187,116	96.3	306,118	98.0	10.3
再輸出	7,229	3.7	6,309	2.0	-2.7
合計	194,345	100.0	312,427	100.0	10.0

(出所) Eighth Malaysian Plan 2001-2005, Economic Planning Unit Prime Minister's Office, Malaysia, 2001

表2 マレーシア製造業の部門別輸出品目 (1995年、2000年) (RM million)

産業	1995年	%	2000年	%	年平均増加率
資源依存型	22,896	15.5	42,924	13.5	13.4
食品	3,218	2.2	4,509	1.4	7.0
飲料とタバコ	397	0.3	1,207	0.4	24.9
石油製品	3,127	2.1	8,131	2.6	21.1
化学、化学製品	6,257	4.2	15,011	4.7	19.1
ゴム製品	3,268	2.2	4,695	1.5	7.5
木製品	4,954	3.4	6,801	2.1	6.5
非金属鉱物製品	1,677	1.1	2,571	0.8	8.9
資源非依存型	113,173	76.9	252,383	79.4	17.4
繊維、繊維製品	6,519	4.4	10,433	3.3	9.9
金属製品	4,656	3.2	8,618	2.7	13.1
電子・電機製品	96,748	65.7	230,429	72.5	19.0
輸送機械	5,251	3.6	2,903	0.9	-11.2
その他製造業製品	11,184	7.6	22,601	7.1	15.1
合計 (GDP比率)	147,253 (79.6%)	100.0	317,908 (85.2%)	100.0	16.6

(出所) Eighth Malaysian Plan 2001-2005, Economic Planning Unit Prime Minister's Office, Malaysia, 2001

表3 マレーシアの SITC3 桁による主要貿易品目(2002年) (RM Billion)

SITC	品目	金額	%
[輸出]			
776	Transistors, Valves, etc	72.6	20.5
752	Automatic Data Processing Equipments	33.0	9.3
759	Parts & Acc., for Office Machines	32.0	9.0
764	Telecomm. Eqpnt. Parts nes	19.0	5.4
422	Fixed Veg. Fats, Oils, Crude, Refined not Soft	14.0	3.9
333	Petroleum Oils, Crude	11.8	3.3
343	Natural Gas	9.9	2.8
772	Electrical Switcher Relays, Circuits nes	9.8	2.8
761	Television Receivers etc	8.5	2.4
763	Sound Recorder, Phonograph	7.1	2.0
	Others	146.8	41.4
	Total	354.5	100.0
[輸入]			
776	Transistors, Valves, etc	88.5	29.2
759	Parts & Acc., for Office Machines	13.3	4.4
764	Telecomm. Eqpnt. Parts nes	12.9	4.3
772	Electrical Switcher Relays, Circuits nes	11.4	3.8
778	Electrical Machinery & Apparatus nes	8.7	2.9
752	Automatic Data Processing Equipments	7.6	2.5
334	Petroleum Products Special Transaction	7.5	2.5
931	Oth. Machines parts, Specilaized for Particula	7.0	2.3
728	Parts, Specialized for Particulara Ind.	4.9	1.6
874	Measuring, Analys'g, Control'g Instru. etc, Pa	4.9	1.6
	Others	136.9	45.1
	Total	303.5	100.0

(出所) Malaysian External Trade Development Corporation

表4 マレーシアの主要貿易相手国 (2002 年)

(RM Billion)

輸出相手国	金額	%	輸入相手国	金額	%
USA	71.50	20.2	Japan	53.91	17.8
Singapore	60.66	17.1	USA	49.70	16.4
Japan	39.78	11.2	Singapore	36.32	12.0
China	20.17	5.7	China	23.47	7.7
Hong Kong	19.97	5.6	Taiwan	16.86	5.6
Thailand	15.10	4.3	South Korea	17.08	5.6
Taiwan	13.22	3.7	Thailand	12.02	4.0
Netherlands	13.15	3.7	Germany	11.16	3.7
South Korea	11.82	3.3	Philippines	9.86	3.2
United Kingdom	8.35	2.4	Indonesia	9.69	3.2
Others	80.76	22.8	Otheres	64.44	21.2
Total	354.48	100.0	Total	303.51	100.0

(出所) Malaysian External Trade Development Corporation

資源非依存の製造業では 79.4% に達している。中でも、電子・電機製品で 7 割を超えている。逆にかつて輸出上位品目であった繊維、繊維製品と木製品のシェアは 3.3%、2.1% に縮小している。SITC3 桁レベル分類コードにおける輸出入品目では 7 類が多い (表 3)。製造業による製品輸出総額の GDP に対する比率は 1995 年の 79.6% から 2000 年には 85.2% へと大きく上昇している。

また、マレーシアの日本、シンガポール、米国の 3 カ国に対する輸出入額はそれぞれ総輸出入額の 48.5%、46.2% を占めて、輸出市場も特定国に著しく集中している (表 4)。

3. 貿易指数

マレーシアの貿易指数 (輸出入の価格指数と数量指数) は当初は 1970 (100) 年を基準に作成されていたが、その後 1999 年基準 (100) に改訂されている。現在、SITC1 桁レベル分類コードによるものが月報で刊行されている。指数計算は商品を固定したバスケット方式を採用し、商品を SITC3 桁コードにグループ化した上で以下のラスパイレズ式を用いて算出している。価格指数は、

$$p^L = \frac{\sum \frac{p_n}{p_0} (p_0 q_0)}{\sum (p_0 q_0)} \times 100$$

ここで、 p_n : 比較時における商品の価格、 p_0 : 基準時における商品の価格、

q_0 : 基準時における商品の数量である。

貿易統計の商品価格の表示では、輸入は CIF を、輸出では FOB を用いている。また、輸出価格指数と輸入価格指数の比から交易条件指数を求めている。年ベースの指標も月々の指標から作成されている。

貿易指数の計算に用いている商品数は輸出で 1,897 品目、輸入では 1,321 品目に及んでいる。それら品目を合計した輸出入金額は、それぞれ 1999 年における輸出総額の 85%、輸入総額の 83% を占めている。価格指数の計算で重みとして用いるウェートとして 1999 年における商品の輸出入価格を用いている。SITC1 桁コード別によるウェートの割合は、表 5 にみられるように輸出品目では SITC-3 (7.0%)、SITC-6 (7.6%)、SITC-7 (62.6%)、SITC-8 (8.2%)、で、輸入においては SITC-5 (7.7%)、SITC-6 (11.7%)、SITC-7 (63.0%) と、輸出入のいずれにおいても SITC-7 の範疇に属する商品のみでウェートの 6 割を超えている。従って、SITC-7 の商品による輸出入の増減がマレーシアの貿易指数の変動に大きく影響している。

表 6 では 2000 年、2001 年、2002 年および 2001 年 9 月から 2003 年 9 月迄の全商品 (All Commodities) の輸出入価格指数、数量指数、交易条件指数を掲げたものである。また、図 1 から図 5 までは対前年同月比の輸出入価格指数、数量指数それに交易条件指数の変動を描いたものである^(注3)。この表には示していないが、マレーシアの輸出価格指数では SITC-7 (機械・輸送機械) と SITC-1 (飲料・タバコ) がその変動に大きく寄与している。輸入では

表 5 マレーシアの貿易指数のウェートと SITC コード

SITCコード	ウェートの割合	
	輸出	輸入
SITC 0	2.0	4.4
SITC 1	0.3	0.3
SITC 2	3.1	2.5
SITC 3	7.0	3.1
SITC 4	5.7	0.4
SITC 5	3.2	7.7
SITC 6	7.6	11.7
SITC 7	62.6	63.0
SITC 8	8.2	5.3
SITC 9	0.3	1.6
ALL	100.0	100.0

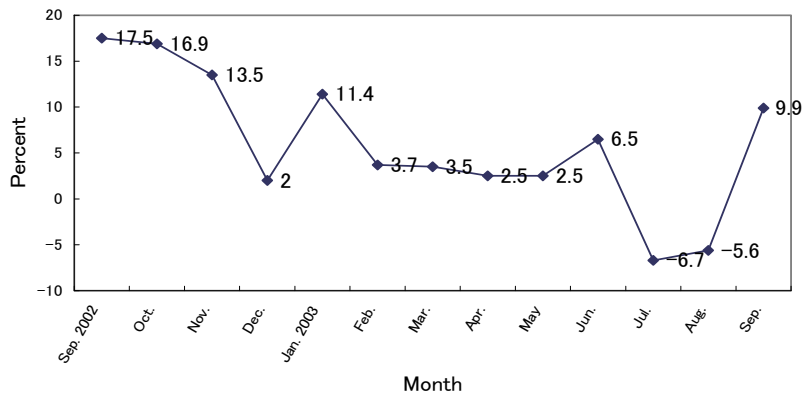
(出所) External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003,
Department of Statistics, Malaysia

表6 マレーシアの貿易指数

		輸出数量	輸入数量	輸出価格	輸入価格	交易条件
2000		112.6	124.0	103.0	101.3	101.7
2001		108.0	113.8	96.5	99.3	97.2
2002		114.6	120.7	96.1	100.7	95.4
2001	Sep.	99.7	110.7	103.0	96.9	106.2
	Oct.	107.3	119.2	99.9	98.4	101.5
	Nov.	107.5	115.7	97.5	101.7	95.8
	Dec.	104.3	114.2	94.1	90.9	103.5
2002	Jan.	102.9	116.9	99.4	94.9	104.8
	Feb.	93.5	99.1	96.4	99.2	97.1
	Mar.	116.9	127.8	98.0	96.7	101.4
	Apr.	113.6	129.3	95.4	100.5	94.9
	May	114.0	122.7	94.9	99.6	95.3
	Jun.	115.4	118.6	93.6	101.2	92.5
	Jul.	125.9	130.2	91.5	99.3	92.2
	Aug.	124.5	129.4	93.9	99.9	94.0
	Sep.	117.2	122.2	99.2	104.2	95.2
	Oct.	124.2	121.4	95.6	107.1	89.3
	Nov.	121.0	121.0	95.2	101.4	93.9
	Dec.	106.3	110.2	100.0	104.8	95.5
2003	Jan.	114.3	113.6	98.9	102.1	96.9
	Feb.	97.2	99.6	99.2	101.3	98.0
	Mar.	120.4	117.9	98.9	104.7	94.5
	Apr.	116.1	115.0	98.4	104.1	94.5
	May	116.5	117.3	98.2	100.2	98.1
	Jun.	121.9	112.4	94.2	102.4	92.0
	Jul.	119.2	123.5	95.8	102.5	93.5
	Aug.	118.9	112.4	94.1	102.1	92.2
	Sep.	127.1	120.0	95.9	101.8	94.1

(出所) External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003, Department of Statistics

図1 Export Volume Index and Year-on-Year Percentage Change



(出所) External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003, Department of Statistics, Malaysia

図 2 Import Volume Index Year-on-Year Percentage Change

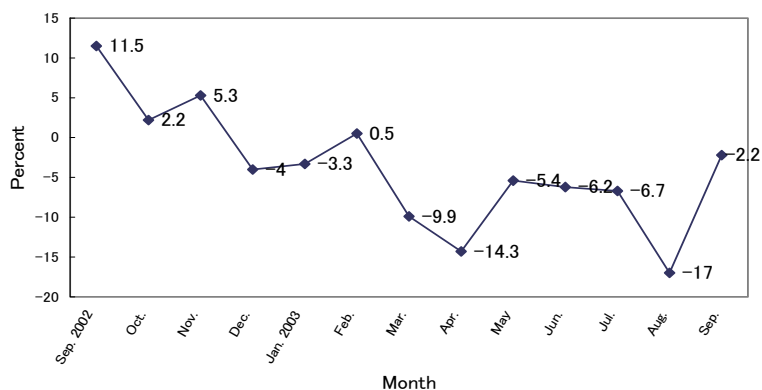


図 3 Export Unit Value Index Year-on-Year Percentage Change

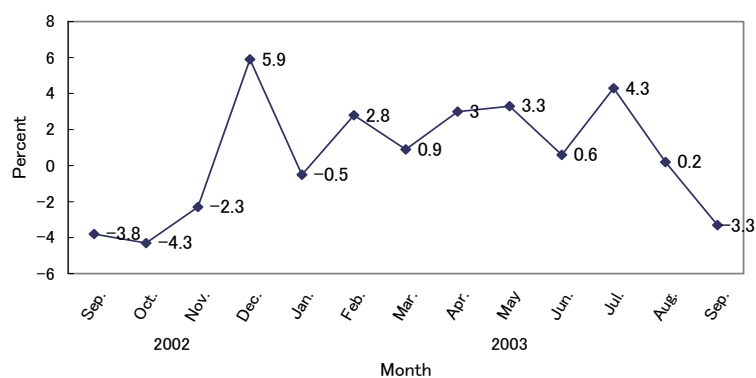
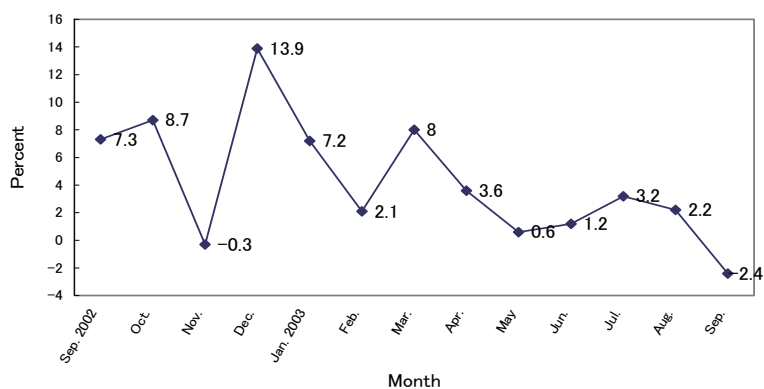
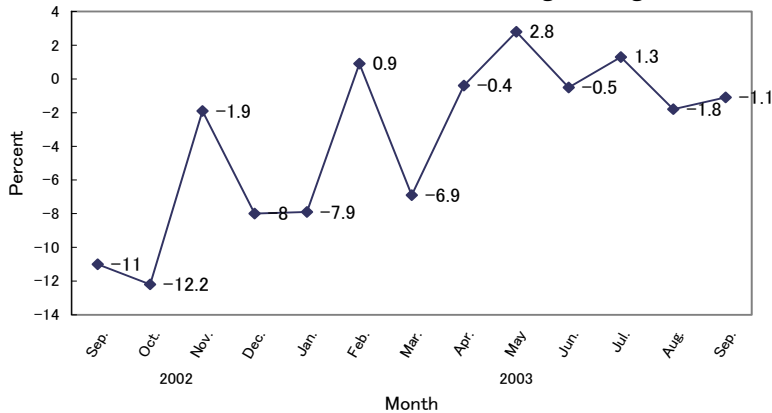


図 4 Import Unit Value Index Year-on-Year Percentage Change



(出所) 図 2,3,4 とともに、External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003, Department of Statistics, Malaysia

図 5 Terms of Trade Index Year-on -Year Percentage Change



(出所) External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003, Department of Statistics, Malaysia

SITC-7 (機械・輸送機械)、SITC-3 (鉱物燃料) がその主たる変動要因となっている。

数量指数においてもほぼ同様の傾向が見られる。いずれにしろ、マレーシアの貿易指数は電子・電機産業による輸出入の動向に大きく左右されている。

交易条件指数は 2002 年以降 100 を下回っていて、2003 年 9 月の交易条件指数は前月に比べて 2.1 ポイント上昇して 94.1 となったが、対前年ベースでは 1.1 ポイント減少している。

おわりに

マレーシア統計局は貿易データを一元的に収集・整備し、それを貿易月報、貿易年刊として定期的に刊行している。1996 年以降のデータに関しては HS コード 9 桁レベル分類コードまでのデータを CD-ROM の形態で刊行している。マレーシアの貿易構造は輸出品目では電子・電機製品が、輸入品目では電子・電機関連の部品、中間財がその過半数を占めている。そのため、貿易指数に用いるウェイトにおいても電子・電機関連の比重が著しく大きく、その輸出入動向は指数変動に大きく影響している。貿易指数は 1999 年を基準に作成されていて、SITC1 桁レベルの指数が月報として刊行されており、現在

2003 年 1 月以降について入手可能である。

(注 1) マレーシア統計局の機構は以下の 16 の部 (Division) に分かれている。1. Information Technology Division, 2. Research and Development Division, 3. Corporate and User Service Division, 4. Balance of Payments Statistics Division, 5. Economic Indicators Division, 6. Environment Statistics Division, 7. Industrial Production and Construction Statistics Division, 8. Statistical Training Division, 9. Prices, Income and Expenditure Statistics Division, 10. External Trade Statistics Division, 11. Demographic Statistics, 12. Service Statistics, 13. National Accounts Statistics Division, 14. Methodology Division, 15. Manpower and Social Statistics Division, 16. Population and Housing Census Division.

(注 2) 具体的には以下の商品が貿易統計から除かれている。Containers, cylinders, bottles, crates and the like specified as returnable (HS:3923.10.000, 7010.91.100, 7010.91.900, 7010.92.100, 7010.92.900, 7010.93.100, 7010.93.900, 7010.94.100, 7010.94.900, 7612.10.900, 7612.90.900, and sub-chapters 7310, 7311, 9800.00.914, and 8609), Samples, gifts and specimens for test of analysis, irrespective of value (HS: 9800.00.600)

(注 3) グラフに示した各指数の対前年同月比は(前年月一当月)で計算したものである。

【参考文献】

[1] *Malaysia External Trade Statistics Tables & Summaries 2002*, Department of Statistics, Malaysia, November 2002

[2] *External Trade Indices Malaysia (1999=100) September 2003*, Department of Statistics, Malaysia, September 2002